科目名		担当教員	
社会福祉援助技術実習指導Ａ		三浦 剛／元村 智明／石附 敬／高野 亜紀子／清水 冬樹／芳賀 恭司／眞嶋 智彦／二渡 努ほか	
科目コード	単位数	履修方法	配当年次
CP3190	1	SR（講義）	２年以上
履修登録条件	「演習Ａ」と同時に履修登録をしてください。		
生成 AI 利用レベル	レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

※履修の前提科目は『学習の手引き』３章をご参照ください。
※本科目は 2027 年度より新カリキュラムの実習指導と合同で開講します。
※2009 年度以降入学者に対して開設されている科目です。2008 年度以前入学者、福祉心理学科の方は、履修することはできません。
※スクーリング受講は３年次以上（実習申込が受理された後）。
※レポート提出期限や期間が指定されています（後述の「■各課題提出期限・提出方法」参照）。
※「実習指導Ａ」のスクーリングを欠席された方は、「実習指導Ｂ」および「社会福祉援助技術実習」は受講できません。

科目の概要

■科目の内容

社会福祉士として必要な具体的かつ実践的な専門技術等の習得を図ることを目的とします。また、併せて社会福祉援助技術実習の意義について理解をするとともに、児童・高齢者等、実際に実習を行う実習分野（利用者理解を含む）と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解をすることを目的とします。

また、次年度の相談援助実習に向けて、実習計画の意義と策定方法を学びます。そして、これまで学修してきた社会福祉学の専門知識を深化させるとともに、各自の援助能力の開発・今後の課題の明確化・自己理解を深める場とし、相談援助専門職としての倫理観を理解する機会とします。

■到達目標

１）実習をおこなう施設・機関等を利用する地域や利用者の実態、生活ニーズ等について具体的データ等を示しながら説明することができる。
２）実習をおこなう施設・機関等の根拠法、機能、業務内容について説明できる。
３）実習をおこなう施設・機関等においておこなわれている関連業務の内容や他職種の役割等について説明できる。
４）「実習計画案」を作成することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」「倫理的実践力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 40%+スクーリング評価６０%

■教科書・参考図書

【教科書】（「実習指導Ｂ」「実習」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座［専門科目］８ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）』中央法規出版、2021 年

（最近の教科書変更時期）2026 年４月

（スクーリング時の教科書）上記教科書は必ず持参してください。

【参考図書】

１）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座［共通科目］１２ソーシャルワークの理論と方法（共通科目）』中央法規出版、２０２１年

２）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座［共通科目］１１ソーシャルワークの基盤と専門職（共通・社会専門）』中央法規出版、２０２１年

スクーリング

■スクーリング受講申込上の注意

- この科目は、スクーリングの受講が必須となります。
- １クラス 20 人以内の少人数で開講します。
- 受講料は 10,000 円となります。
- 受講許可証・納入依頼書は、各受講判定日（申込締切日）以降に発送します。
- スクーリング開講日・申込締切日は、通信教育部 HP 掲載の『試験・スクーリング情報ブック』または『With』を参照ください。
- 申込方法は、『実習の手引き』や通信教育部 HP 掲載の『With』でご案内します。
- クラス分けは無作為に行いますので、教員の指定はできません。
- 申込締切後の受講日・受講地の変更は受け付けしません。必ずしも第一希望での受講ができない場合があります。ご了承ください。
- 公共交通機関の延着を除き、遅刻・欠席は認められません。また、スクーリング終了時間前の退席も認められません。

■実習指導Ａ　スクーリング受講条件

３年次以上で、実習申込受理判定に合格していること。

■スクーリングで学んでほしいこと

社会福祉援助技術実習の意義について理解をするとともに、児童・高齢者等、実際に実習を行う実習分野（利用者理解を含む）と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解をする。

また、次年度の相談援助実習に向けて、実習計画書の意義と策定方法を学ぶ。そして、これまで学修してきた社会福祉学の専門知識を深化させるとともに、各自の援助能力の開発・今後の課題の明確化・自己理解を深める場とし、相談援助専門職としての倫理観を理解する機会とする。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	ソーシャルワーク実習の意義を理解する。	ソーシャルワーク実習の位置づけやその意義、目標などを学ぶ。
2	実習先で必要とされる価値規範、倫理について理解する。	社会福祉士の倫理綱領を用いて、価値と倫理に基づく専門職の姿勢を学ぶ。
3	実習先領域について理解する。①	実習先領域の利用者や利用者が抱える生活課題、または領域での課題について学ぶ。
4	実習先領域について理解する。②	実習先領域のソーシャルワーク専門職、そのほかの専門職について調べ、まとめる。
5	実習を行う上で必要とされる学習方法、評価について理解する。	実習記録やケース記録などの記録内容や記録方法について学習する。またスーパービジョンの受け方などについても学ぶ。
6	実習先における個人のプライバシー保護と守秘義務について理解する。また契約関係について理解する。	事例をつかって、個人のプライバシー保護や守秘義務について、話し合い、学ぶ。実習における契約関係について確認する。
7	実習計画案の作成①	実習計画案の作成方法等について学び、実際に作成する。
8	実習計画案の作成②	作成した実習計画案を他の履修者や教員と共有し、指摘を受け、修正する。
9	実習計画案の作成③	修正した実習計画案を、事前訪問などの機会を利用して、実習先指導者に提出して指摘を受け、修正する。

■スクーリング申込方法

『実習の手引き様式集』より指定の様式で申し込んでください。申込締切日は通信教育部 HP 掲載の『With』やポータルサイトで案内します。

※開講地・開講日程は通信教育部 HP 掲載の『試験・スクーリング情報ブック』を参照ください。

■スクーリング開講予定

スクーリングは 8～3 月頃に行います。

※開講日の詳細は『試験・スクーリング情報ブック』を参照してください。

レポート学習

■在宅学習 8 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	社会福祉士養成とソーシャルワークの実習位置づけ	ソーシャルワーク実習の位置づけについて、資格制度の見直しやその養成課程を理解する。 キーワード：資格制度、養成課程、教育カリキュラム	社会福祉士に求められる役割と新たな教育カリキュラムについて理解しましょう。また、ソーシャルワーク実習の基本的枠組み、実習指導者や担当教員について、教育内容等について理解しましょう。

2	ソーシャルワーク実習教育内容、評価ガイドラインについて	ソーシャルワーク実習教育内容・実習評価ガイドライン、ソーシャルワーク実習指導ガイドラインについて理解する。 キーワード：ソーシャルワーク実習教育内容・実習評価ガイドライン、ソーシャルワーク実習指導ガイドライン	ソーシャルワーク実習教育内容・実習評価ガイドライン、ソーシャルワーク実習指導ガイドラインについて学習し、ソーシャルワーク実習を具体的に理解イメージできるようになりましょう。
3	・ソーシャルワーカーとしての社会福祉士、社会福祉士の新たな役割と機能、社会福祉士の責務について。 ・ソーシャルワークの枠組みについて。	ソーシャルワーカーとしての社会福祉士とはどういう意味であるのかを役割や機能、ソーシャルワークの枠組みを通して理解する。 キーワード：ジェネラリスト・ソーシャルワーカー、ソーシャルワーク機能、価値、倫理、知識、技術、義務、ソーシャルワークの枠組み	ソーシャルワーカーとしての社会福祉士とは、ソーシャルワーカーと社会福祉士の関係を理解し、そのためにソーシャルワークの枠組みを、キーワードを中心に確認しましょう。
4	実習の場と形態 法令上のソーシャルワーク実習施設、フィールド・ソーシャルワークとレジデンシャル・ソーシャルワーク実習など、さまざまな実習の形態について	法令上の相談援助実習施設の範囲、フィールド・ソーシャルワーク、レジデンシャル・ソーシャルワークの特徴と分類、その代表的実習先を理解する。 キーワード：施設の範囲、フィールド・ソーシャルワーク、レジデンシャル・ソーシャルワーク	法令上の相談援助実習施設の範囲を法律ごとにまとめてみましょう。また、フィールド・ソーシャルワークとレジデンシャル・ソーシャルワークの特徴について、そして代表的な実習先について理解しましょう。
5	契約関係の中にある実習 実習契約関係の理解 実習機関・施設におけるリスクマネジメントについて	実習における契約の意義について、また、契約内容について理解する。併せて、プライバシー情報を含む実習機関におけるリスクマネジメントの必要性について理解する。 キーワード：実習契約、リスクマネジメント、守秘義務、個人情報保護	実習における契約書締結の意義について、「実習委託と指導関係の構造」から整理してみましょう。また、実習にかかわるリスクとなどのようなことが考えられるのかまとめてみましょう。
6	実習スーパービジョンの理解 ・実習スーパービジョン関係 ・実習スーパービジョンの実際	スーパービジョン、実習スーパービジョンの意義および定義、機能、効果について、また、スーパービジョンの構造とスーパーバイザーの権能について理解する。 キーワード：スーパービジョン、実習スーパービジョン、スーパービジョン機能（管理・教育・支持）、スーパーバイザーの権能	スーパービジョンおよび実習スーパービジョンの意義および定義、機能、効果について理解しましょう。また、スーパービジョンの構造とスーパーバイザーの権能について、実習教育における二重のスーパービジョンシステムについて理解しましょう。
7	実習準備・事前学習課題 実習機関・施設、地域の理解事前学習とし	事前学習の重要性を理解する。また、各分野（高齢者、障害者、児童、社会福祉協議会、医療分野等）の実習機関・施設を理解する。	事前学習の重要性を理解しましょう。また、実習機関・施設について、教科書を参考に分野ごとに確認しましょう。また、インターネ

	て実習先を理解する意義 ソーシャルワーク実習機関・施設、それらが所在する地域について	キーワード：事前学習、実習施設、地域踏査	ットを利用する、実際に赴くなどをして、地域理解の方法も確認しましょう。
8	実習機関・施設、地域の利用者理解と援助方法 実習機関・施設における利用者 実習機関・施設のある地域における利用者援助方法について	実習機関・施設における利用者理解の方法について、また、実習機関・施設のある地域における利用者理解の方法について理解する。また、施設および地域における援助の方法について理解する。 キーワード：利用者理解、地域福祉の推進、個別支援、他の職種との連携、在宅福祉サービス、小地域ネットワーク活動、組織化支援、社会資源開発、地域ケアシステム	実習機関・施設、地域の利用者理解と援助方法についてキーワードを中心にまとめましょう。

■レポート課題

課題１	「演習 A」受講後に体験学習を実施のうえ『体験学習記録』等を提出してください。 ※体験学習→「社会福祉援助技術演習Ａ」の項を参照。
課題２	『ソーシャルワーク実習　課題ノート』（すべて手書き）の 指定範囲を、あらゆる資料を活用して完成させてください。 ※『課題ノート』は対象者へ個別に配付します。
課題３	あなたはなぜ「社会福祉援助技術実習」を希望しましたか。また、実習で学びたいことは何ですか。目標や希望を具体的に述べてください。 ※通常のレポート提出台紙を使用。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■各課題提出期限・提出方法

課題１：「演習Ａ」スクーリング受講後、所定の期日まで。
※郵送（封書にて）または窓口持参。

課題２：「実習指導Ａ」スクーリング受講日
※スクーリング会場にて回収しますので、必ず持参してください。忘れた場合や記載内容が不十分な場合（空白箇所がある等）は、スクーリングが不合格となり、実習受講はできません。

課題３：実習受講前年の２／15～2／末必着
※郵送または窓口持参（通常のレポート提出台紙を使用）。
※教員名は未記入のこと。

【注意】課題 1→３→２ の順で、取り組みます。